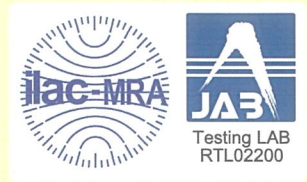


Report

Hokkaido Soil Research Cooperative Association

SRC



2024. 7
No. 407

ISSN 1342-1409

北海道土質試験協同組合広報誌



表紙写真 タウシュベツ川橋梁

[写真説明]

1937年、旧国鉄土幌線に建設された長さ130mのコンクリートアーチ橋。上士幌町にある糠平湖の水が少ない1月から5月頃まで湖面に姿を現す幻の橋。

目

次

1. 巻頭言	1
株式会社開発調査研究所 代表取締役社長 佐藤彰紀 『くるまはリスニングルーム』	
2. 令和6年度（第59期）通常総会議事録	4
3. 令和6年度第1回理事会議事録	5
4. 令和6年度第2回理事会議事録	6
5. お知らせコーナー	6
6. 組合員室内試験研修会を開催	7
7. 第39回技術懇談会を開催	7
8. 部門別試験実績	8
4・5月分	



『くるまはリスニングルーム』

株式会社開発調査研究所
代表取締役社長 佐藤 彰紀

「SRC Report」をご覧のみなさま、開発調査研究所の佐藤と申します。

私自身、この北海道土質試験協同組合への参加はこの5月からとなりますが、組合のさらなる発展のため力を尽くしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、この度「SRC Report」の巻頭言の機会を頂きました。ちょっとだけ弊社のことを書かせていただきます。

弊社はつい先日の令和6年4月24日で、創立60周年を迎えることができました。この場をお借りいたしまして、関係各位の皆様のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

では、本題に入ります。何も題材が思い浮かばなくて困っておりましたが、くるまを運転中に考えたことを文章にします。

仕事柄、道内各地への出張がたびたびあります。北海道は広く、移動距離も長くなるざるを得ませんが、目的地への交通手段として使うのは「くるま」です。JRや飛行機は運転という作業が必要ないので楽かもしれませんが、駅、空港といったターミナルと目的地とのアクセスに気を使わなくていいため、私としてはくるまを好んで使っています。

くるまの運転中にできることは限られますので、あまりに当たり前ですが、カーステレオ(最近ではカーナビ)で何がしかの「音」を聴くことになります。

カーステレオで聴くといえば、まず手っ取り早いのはラジオでしょうか。私も、ニュースや天気予報などをNHKラジオにお世話になっています。刻々と移動していくくるまにとって、電波の強いNHKラジオは大切な存在です。

私が以前勤めていた組織では、現場に行くなど業務に使うくるまにはラジオ(ボタンをバチンと押して選局するやつ)しかありませんでしたが、先輩や運転技術員の方々にはほぼ

例外なくHBCラジオを点けていた記憶があります。NHKやSTVではない理由は不明です。同じ組織出身の現在の同僚のくるまに乗せてもらった時もHBCラジオでした。私が若い時と番組やパーソナリティは変わってきていると思いますが、午前11時を過ぎるとテレフォン人生相談が40年前と同じテーマ音楽とともに流れてくるのはいまでも変わっていません。

さて、ラジオでなければステレオです。カーステレオといえば、父親の最初のくるまは8トラックカートリッジでした。エンドレス再生が可能でした。その後、おおまかには普通のカセットテープ、CD、MD、USBメモリ、最近ではBluetooth接続のスマホと、再生可能なメディアの変遷がありました。また、ナビゲーション機能を併せ持つものは液晶ディスプレイが標準となって、操作性も変わってきています。USBメモリはPCからのファイル転送が容易なのでとても便利です。

くるまで聴く音楽ですが、いちばん音楽に親しんでいたころの、小学生から30歳代あたりにテレビやラジオから流れていたものは、60歳代も半ばにさしかかろうという今でも好んで聴いています。具体的には、まず挙げられるのは昭和歌謡といわれるジャンルです。私が子どもの頃は、テレビで歌番組がいろいろ放送されていたので、当時の流行歌、ヒット曲はいまでもよく覚えていて、好きな曲も多くといますか、たくさんあります。ノスタルジーに浸らせてくれるような著名な曲を集めたオムニバスアルバムが、いろいろなテーマで数多く出されていますので重宝しています。また、特に親しみのある歌手は、アルバムを入手して聴きます。

1970年代は、私が小学校3年生から高校卒業までの期間にあたります。南沙織、渡辺真知子、荒井(松任谷)由実、山口百恵、キャンディーズなどが好きです。

私が大学に入ると同時、1980年にデビューしたのが松田聖子です。私の同級生が4枚目のアルバム(当時はLPレコード)をレンタルして、カセットテープに録音してくれと持ってきたので、ついでに自分の分も録音させてもらいました。最初はさほど興味があるわけではありませんでした。これをきっかけとして聖子ファンになってしまいました。私の推す聖子は昭和の時代オンリー、厳密には昭和63年発表の15枚目のアルバムまでで、くるまのナビに接続しているUSBメモリに保存していて、いつでも聴くことができるようになっています。

1980年代は他に松原みき、EPO、薬師丸ひろ子、今井美樹など。こうして並べると基本的に女性歌手ばかり、アイドル大好きです。男性歌手がいなくて、何かすみません。

時をさかのぼって1960年代で思い浮かぶのは、弘田三枝子、西田佐知子、ザ・ピーナッツ、伊東ゆかり、中尾ミエ、園まり、小川知子、奥村チヨ、黛ジュンなどですが、私は1961年生まれなので、このあたり歌手の良さを認識したのはそれほど昔のことではありません。美空ひばりはテレビでも見ていましたが、江利チエミや雪村いづみとなると、あまりなじみがなくなります。

洋楽も好きです。小学校の高学年からは、何かカッコよさそうな洋楽を聴くようになりました。ラジカセ(懐かしい響き)を買い与えてもらったことが大きかったと思います。ビートルズ、ローリングストーンズ、クイーン、ディープパープル、イエス、ELP、カーペンターズ、S&Gなどなど。レコードはおこづかいで買うには高価でなかなか手が出ないものでしたので、ラジカセでロック、ポップスなど、エアチェックして聞いていました。そういった曲は今でも当時の思い出とともにそばにあります。

ところで、運転中、交差点で信号待ちの停車時などにルームミラーで後方を見たときに、後ろの車の運転手が大きな口をパクパクしながらノリノリな様子でいるのを、ごくごくまれにですが見ることもありました。カーステレオから流れている歌に合わせて歌っているのだと思いますが、くるまの中ですと、大きな声を出しても誰の迷惑になるわけでもないの、カラオケルーム替わりでとてもいいと思います。

私の場合は、くるまの中で歌うことはありませんが、口笛ならぬ歯笛を吹いています。歯笛というのは上下の前歯の隙間を使って音を出すもの(らしい、自分ではよくわからない)です。大きな音を出すことはできませんが、力もエネルギーもあまり使わずに済みます。ただし、口笛のように音が決してきれいではないうえに、出せる音域が1オクターブ半程度ととても狭いのが弱点です。

テレビで歌番組がたくさん放送されていた時代と違って、この頃は新しい音楽に接する機会が少なくなっています。でも、世の中にはたくさんの歌や曲があり、それらは到底すべてを知りうる機会はないものです。

皆さんはくるまの運転中は何を聴いていますか。

これからも、もっといろいろ聴いてみて、好きな曲を増やし、有り余る？運転時間をより楽しくしていければと思っていますので、機会があればご教示いただければ幸いです。

令和6年度（第59期）通常総会議事録

北海道土質試験協同組合

1. 開催年月日 令和6年5月29日（水）午後3時より
2. 開催場所 京王プラザホテル札幌 雅の間
3. 組合員数及び出席者数 (1) 組合員数 47人
(2) 出席者数 47人(本人出席19人、代理人出席16人、委任状出席12人)
4. 議長の氏名 阿部 哲男（中央開発 株式会社 札幌支店）
5. 議事経過の要領及びその結果
 - ・ 第1号議案 令和5年度事業報告、決算報告及び剰余金処分（案）について承認を求める件
 - ・ 第2号議案 令和5年度事業利用分量歩戻（案）及び増資（案）について承認を求める件
議長は第1号議案と第2号議案は関連性が高いので併合審議することを説明し、当該期における事業の経緯を事務局に説明させたうえ、上山 弘 監事（上山試錐工業株式会社）に監査の結果報告を求めた。よって、同氏より監査の結果その処理は適正であった旨報告があり、満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・ 第3号議案 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について承認を求める件
満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・ 第4号議案 令和6年度組合借入金の最高限度額について承認を求める件
満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・ 第5号議案 令和6年度役員報酬案（限度額）について承認を求める件
満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・ 第6号議案 任期満了に伴う役員改選の件
選考委員にとる指名推薦を受け、満場一致で次の通り役員が選任された。また、別室にて理事会を開催し、代表理事、副理事長、専務理事を選任した。
理 事 舟田幸太郎(株式会社 エーティック)
理 事 田中 卓(拓北地下開発 株式会社)
理 事 折笠 章(員外)
理 事 中川 岳(北海道土質コンサルタント 株式会社)
理 事 高岡 伸一(野外科学 株式会社)
理 事 高橋 宣之(株式会社 ブコーシャ)
理 事 本多 弘幸(ダイシン設計 株式会社)
監 事 上山 弘(上山試錐工業 株式会社)
監 事 佐藤 彰紀(株式会社 開発調査研究所)

引き続き、土質試験単価の改定に関する報告がなされた。



理事長の挨拶

令和6年度 第1回理事会 議事録

1. 開催日時	令和6年5月8日(水) 午後1時30分
2. 開催場所	組合会議室
3. 理事総数	5名
4. 議事の経過の概要	<p>議案(1) 事業報告</p> <p>令和5年度3月の事業実績及び、令和5年度の事業実績を報告した。3月の売上は計画を下回ったことが報告された。令和5年度の売上実績は、計画を下回ったことが報告された。令和4年度と比較すると売上高は下回ったが、組合員利用率は令和4年度を上回る結果が得られ、売上げ減少場面においても組合員の利用が堅調であったことが報告された。また、設備投資に伴う補助金及び原価低減努力等により、売り上げの減少をカバーする原価の低減が図られ令和5年度についても一定の利益を確保することができた。</p> <p>(有)共同土質試験の令和5年度の売上は、計画に対して実績が計画を下回ったことが報告された。</p> <p>議案(2) その他</p> <p>ア. 通常総会議案書について精査し、5月29日の総会に諮ることとした。</p> <p>イ. 4月30日に監事により実施された監査結果について、組合監査報告と共同土質監査報告について精査し、承認した。</p> <p>ウ. 次回理事会は、令和6年6月24日(月)に開催する事を決定した。</p>

令和6年度 第2回理事会 議事録

1. 開催日時	令和6年5月29日（水） 午後4時36分
2. 開催場所	京王プラザホテル札幌
3. 理事総数	7名
4. 議事の経過の概要	<p>議事 代表理事(理事長)、副理事長及び専務理事選任の件</p> <p>互選の結果、次の者が代表理事(理事長)、副理事長及び専務理事に選任され、それぞれ即時就任を承諾した。ただし、令和6年5月29日付を以って就任とすることを付け加えた。</p> <p>代表理事 舟田 幸太郎</p> <p>副理事長 田中 卓</p> <p>専務理事 折笠 章</p>
5. 次回理事会日程の件	次回理事会を令和6年6月24日（月）に開催することを決定した。



組合員代表者変更について

下記の組合員に代表者の変更がありましたのでお知らせいたします。

記

アースコンサルタント株式会社

(新) 代表取締役 伊藤 稔 (旧) 小倉 健一 令和6年5月

株式会社ユニオン・コンサルタント

(新) 代表取締役社長 渡辺 均 (旧) 関根 幸博 令和6年6月

組合員室内試験研修会を開催

技術部 平 伸明

4月18・19日と5月16・17日の2回(4日間)にわたり、室内試験研修会を開催しました。参加の皆様は、塑性限界試験では粘土を3mmのひも状にしたり、一軸試験の供試体を整形したりと、熱心に研修を行い、泥炭圧縮時の排水状況や乾燥後の軽さや岩石に含まれる鉱物種の違いによる膨潤過程の違いなどを興味深く観察していました。また、結果の解釈や利用方法などをしっかり理解しようと熱心に説明に耳を傾けていました。短い時間でしたが、基本的な試験については、体験や実施状況の確認などはして頂けたと考えております。試験実習となると繁忙期には対応ができない可能性もございますが、今後もできる限りのご要望に応えて対応していきたいと考えております。



試験状況の観察

第39回技術懇談会を開催

技術部 平 伸明

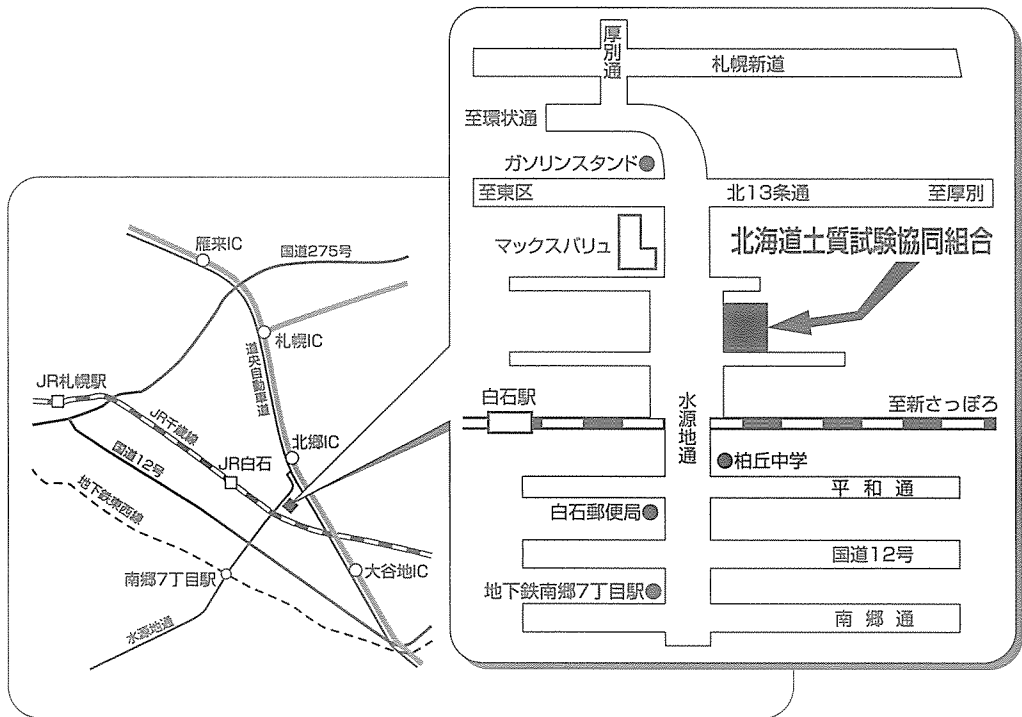
6月19日(水)、TKP札幌駅カンファレンスセンター・ホールにて、第39回技術懇談会が開催されました。当日は多くの組合員の皆様にご参加いただき、誠にありがとうございます。懇談会は当組合の舟田理事長の挨拶に続き、組合活動報告3題の後に北海道科学大学 工学部 都市環境学科 教授の蟹江俊二先生に『永久凍土の変化から「地球のこれから」を考える』と題して特別講演を頂きました。永久凍土の変化から今後起こりえる問題や凍土保全にむけた今後の取り組みなどを非常にわかりやすく説明して頂きました。懇談会後には懇親会も開催し、組合員の皆様方と情報・意見交換など大変有意義な時間を頂きました。



舟田理事長の開会挨拶



蟹江教授の特別講演



① 高速道路を利用した場合

旭川方面から 札幌IC出口より 約10分

小樽方面から 大谷地IC出口より 約10分

室蘭方面から 札幌南IC出口より 約15分・北郷IC出口より 約8分

② 国道を利用した場合

旭川方面から 国道12号から水源地通りを右折

小樽方面から 札幌新道(国道274号)から厚別通りを右折し水源地通りを左折

室蘭方面から 国道36号から水源地通りを右折

③ 公共交通機関を利用した場合

JRを利用した場合 JR白石駅下車、徒歩約15分

地下鉄を利用した場合 市営地下鉄東西線、南郷7丁目駅下車、徒歩25分

又は、北海道中央バス(白25番)に乗り継ぎ、北郷2条8丁目下車

● 発行所

北海道土質試験協同組合

〒003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号

TEL 011-873-9895 (代表)

FAX 011-873-9890 (総務部)

FAX 011-874-1910 (技術部)

ホームページアドレス <http://www.src.or.jp/>

地質調査業者登録

土壤汚染指定調査機関登録

ISO/IEC17025:2005認定登録

● 発行日

第407号 令和6年7月15日

● 編集責任者

折 笠 章

● 印 刷

株エーシーピー TEL 231-7575

